

“その先へ——いくつもの壁を越えて。”

日本航空株式会社・植木義晴会長インタビュー

だからこそ今、夢を描く。

福智町と包括連携を結ぶ日本航空は、10年前「経営破綻」という大きな壁を越えてきました。破綻時の経験を生かした経営で日本航空は「世界の JAL」へと大きく飛躍を続けています。日本航空を再建へ導いた植木義晴会長から、町の厳しい現状を開く鍵をお伺いします。



“底に落ちたからこそ
化学反応が起こった”

「無謀経営」からの再建
業績は奇跡のV字回復
かつて企業として過去最大の経営破綻を経験した日本航空。破綻時に政府の依頼でJALの会長に就任した稲盛和夫氏により代表取

締役社長に抜擢された植木義晴会長は「破綻時は全社員の当事者意識が欠けていた。その甘えが不採算路線も継続するなどあしき風潮を作り、まさに「無謀経営」で、破産すべくして破産した」と厳しく当時を振り返ります。

その後、不採算路線の廃止や全社員の指針「JALフィロソフィ」による意識変革で抜本的経営改革を断行。結果、破綻から2年8か月で東証一部企業へ再上場を果たし、業績は奇跡とたとえられるV字回復を成し遂げます。

JALフィロソフィで 心魂のベクトル一つに

「経営破綻の原因である当事者意識の欠如は、全社員の方向性がばらばらだったことが根本的な要因でした。野球にたとえると、9人全員が4割打者でも、それぞれが身勝手なプレーをすれば全くため。経営も同じで、個としての能力が高くて、全員の方向性が1つでなければ意味をなしません。チームの魂が1つになら



JALフィロソフィ

サービスや商品に携わる全員がもつべき意識・価値観・考え方の指針として策定した「JALフィロソフィ」。この企業理念を元に、日本航空全体で同じ価値観をもって判断・行動することができ、社員全員が心をひとつに一体感をもって、お客さまに最高のサービスを提供し、企業価値を高めることで、社会の進歩発展への貢献を目的としています。

“破綻で学んだ 魂合わせる意味”

たとき、トータル力は何倍にもなります」と今までの経験を通して植木会長は語ります。全社員の方向性をまとめるため、日本航空では「JALフィロソフィ」の教育を徹底。「1年に3回、3万5千人の社員に1回2時間の勉強会を実施します。これを給与に換算すると何億円にもなりますが、意識・人づくりは、規則にも勝る。だからこそ経費をかける価値があるので」と植木会長は破綻から学んだ「心を1つにする重要性」を説きました。

“守りは100%後退
常に夢を持ち前進を”

「向かい風」をも味方に
大きな夢へテイクオフ
新型コロナの影響で外出・出張自粛が続き、航空業界全体が大打撃を受けた今期。「未曾有の危機に直面していますが、必ず乗り越えられると確信しています」と植木会長は現状を受け止めながらも自信をのぞかせます。世界中の航空会社が危機にある中、日本航空は将来を見据え、増資を実行。植木会

長は「ポストコロナ時代で世界トップの航空会社を目指すための増資です」と目の前に広がる夢へのフライトに目を輝かせました。「挑戦を忘れ、守りに入れば必ず後退しかありません。常に大きく現実的な夢を描き、前進し続けることが発展の秘訣かもしれません」と頬を緩ませた植木会長。日本航空は、向かい風を揚力に変え、より高いステージに向けて飛躍を続けています。

JALと福智町の歩み

- Episode 1** 情報誌「AVION」で福智特集
2012 12/12
JAL九州支社の地域情報誌「アビオン」で福智町を特集。
- Episode 2** 大西賢会長が福智町を訪問
2013 1/28
JAL大西賢前会長が来町し、福智の町おこし活動を認め、協力を表明。
- Episode 3** のりもの教室 in ふくち
2013 4/28
初の共同企画で平筑車両を活用し、パイロットやCAの航空教室を実現。
- Episode 4** 北九州空港の見学授業
2014 4/11
規制区域内の見学が実現し、子どもたちの夢を広げました(計5回実施)。
- Episode 5** JALラウンジ上野焼展示
2017 3/1
改装した福岡空港JALラウンジに上野焼を常設展示し、町の魅力をPR。
- Episode 6** 包括連携協定を締結
2018 7/26
町として国内2例目の包括連携協定を締結。さらなる飛躍を誓いました。
- Episode 7** JAL福智スイーツ列車
2018 9/22
CAのおもてなしと町の魅力で格別な空間を提供した協定後の初企画。
- Episode 8** JAL福智スイーツ大茶会
2019 11/9-10
今までの連携が結実した「JAL福智スイーツ大茶会」。上野焼に似合うスイーツコンテストもJAL協賛による初開催が実現。

● 植木義晴(うえきよしはる)航空大学を卒業後、パイロットとして日本航空に入社。破綻後に稲盛和夫会長の下、執行役員運航本部長に就任。平成16年、国内で初めてパイロット出身の代表取締役社長となる。令和2年から取締役会長に就任。京都府出身、68歳。父は昭和映画界の大スターで俳優の片岡千恵蔵。